

# ミニ田んぼで生き物を調べよう

田んぼの中には生き物がいっぱい。でも、なかなか田んぼの中には入れないし、よく見られません。そこで、ポリバケツを使ってミニ田んぼをつくり、イネを育てながら田んぼで見られる生き物をじっくり観察してみましよう。

## 必要なもの【材料】

- ・ポリバケツ(10L以上のもの)
- ・田の土(畑の土でもよい)
- ・イネの苗
- ・顕微鏡などの観察用具

## 1 ミニ田んぼにイネの苗を植えよう

### (1)土と苗を手に入れよう

- ・学校や家の近くで田植えが始まったら、ミニ田んぼ作りを始めます。
- ・農家の人にお願ひし、まだ乾いている田んぼの土とイネの苗を6本分けていただきます。イネの苗は根が乾かないように、植えるまで水につけておきます。
- ・ポリバケツに入れる土の量は、バケツの縁より5cm位までにします。そして、水を加えます。加える水の量は、土の上に少し水がのる位にして、多すぎないようにします。よくかき混ぜ一日静かにしておきます。

### (2)イネの苗を植えよう

- ・ミニ田んぼの土が沈み、上水が分かれたらイネの苗を植えます。2本ずつ、3ヶ所に植えますが、根が2cm位の深さになるように植え付けます。(図1、2)

### (3)ミニ田んぼの置き場所

- ・ミニ田んぼは、一日中よく日の当たる所に置いてイネを育てます。
- ・もし、ミニ田んぼをいくつも作れる人は、日当たりの違ういろいろな場所に置いてイネを育ててみましょう。

### (4)ミニ田んぼの水管理

- ・水がなくならないように気をつけ、上水の深さを3~5cmに保つように水を時々足します。(図1)
- ・イネの苗をしっかり育てる場合は、草丈が伸び、株数が増えたら水を切る「中干し」をするのですが、ミニ田んぼに現れる生き物を調べるために、稲穂が垂れ黄色くなるまで上水を残しておきます。(図3)

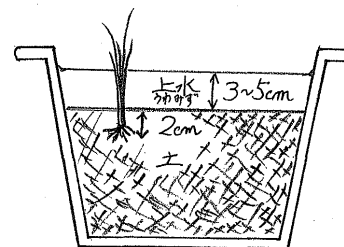


図1

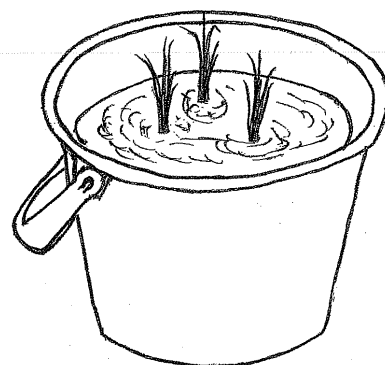


図2

## 2 ミニ田んぼの生き物の観察計画を立てよう

### (1)観察ノートに田んぼの管理やイネの成長を記録しよう

- ①作業や観察した日(○月○日○時) これはいつも必ず書こう。
- ②上水の深さや水を足したときの深さの記録
- ③天気や気温、水温の変化
- ④イネの株数や草丈の変化の記録
- ⑤イネの花が咲き始めたときの様子
- ⑥1本の稲穂についた種もみの数

### (2)イネに集まる虫を調べよう

・農家の人は、イネにつく虫を害虫として取り除きますが、どんな虫が集まるか調べてみましょう。記録にはデジカメなどがたいへん便利です。

(3)ミニ田んぼに育つ植物を調べよう

・田んぼの土にはいろいろな植物の種が入っています。イネを育てるには、雑草として取り除くのですが、そのまま残して名前を調べてみましょう。デジカメで記録したり、押し花標本にしたりして調べてみましょう。

(4)水の中にはどんな小動物が現れるか調べてみよう

・田んぼの土にはカイエビやミジンコなどの小動物の卵もたくさん含まれています。田んぼに水が入るとふ化して泳ぎ出します。ミニ田んぼの上水の中をじっくり観察し、虫めがねやけんび鏡で観察してみましょう。(図4)

(5)田んぼで見つけた生き物を飼育してみよう

・田んぼによっては、カブトエビやハウネンエビが発生します。水槽で飼育するとすぐに死んでしまいますが、ミニ田んぼに放すと長い間観察できます。ミニ田んぼは狭いので、2~3匹が限度です。いろいろな生き物をスケッチしてみよう。(図5)

・カブトエビを育てたミニ田んぼには、毎年カブトエビが発生するようになります。



図3 バケツで育ったイネ



図4 ミジンコの種類

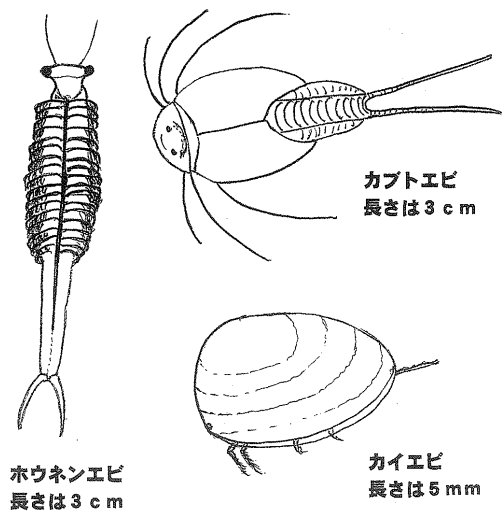


図5 生き物のスケッチ例